

<h1>3-4年生用指導案</h1>	略語一覧	
	PC	ピクチャーカード
	S	児童(一名)
	Ss	児童(複数)
	HP	ECCジュニア・ホームページ
	C	クラス
	太字・斜体	児童が自ら言えることを目標とするセンテンス

Lesson3	ボディパーツ	
ねらい	ボディパーツ (9単語) : head (頭), stomach(お腹), back (背中), shoulder(s) ((両) 肩), hand (手), leg (脚), knee(s) ((両) 膝), foot (足), toe(s) ((両) つま先) を言うことができる。	
準備物	数のPC (オプション・板書でもよい)、色のPC 「タッチできるかな?」カード (児童数×2) (HPからダウンロードできます)、机 (グループ数分) The Hokey Pokeyカセットテープ/CD (HPからダウンロードできます。)	
	レッスン概要	時間の目安
ウォームアップ	挨拶・本時のレッスン内容提示	0:00
レビュー	What number is this? (この数字は何?), One. (1.) 1~15 What color is this? (これは何色ですか?), Red. (赤.) blue(青), green(緑), orange(オレンジ), red(赤), yellow(黄), black(黒), white(白), pink(ピンク)	0:02
ボディパーツ	What's this? (これは何?) What are these? (これらは何?) Head. (頭.) (Put your) hand and head (together). (手と頭をくっつけて下さい。) ボディパーツ (9単語) : head (頭), stomach(tummy)(お腹), back (背中), shoulder(s) ((両) 肩), hand (手), leg (脚), knee(s) ((両) 膝), foot (足), toe(s) ((両) つま先)	0:07
アクティビティ	タッチできるかな?	0:15
ソング	The Hokey Pokey	0:30
ラップアップ	本時の復習・誉め言葉	0:43

0:00	ウォームアップ		
	準備物 : なし		
活動内容	先生の動き	児童の動き	備考
挨拶	Good morning. /Good afternoon. /Hello. (おはよう。/こんにちは。)	GOOD MORNING. /GOOD AFTERNOON./ HELLO. (おはよう。/こんにちは。)	“How are you?”や天気を聞いてもよい。
本時のレッスン内容提示	今日は身体の部分の言い方を覚えます。		

0:02	レビュー		
	準備物 : 数のPC (オプション・板書でもよい)、色のPC		
活動内容	先生の動き	児童の動き	備考
数の復習	板書した数字/またはPCを見せながら単語を児童から引き出す。 What number is this?	C : ONE! (1.)	
色の復習	色のPCを見せながら児童から単語を引き出す。 What color is this?	C : RED! (赤。)	

0:07		ボディパーツ	
準備物：なし			
活動内容	先生の動き	児童の動き	備考
導入	What's this? ((頭を指して)これは何?) <u>Head</u> . (何回か繰り返し聞かせる。) Repeat! <u>Head</u> . (リピート! 頭。) What are these? ((両肩を指して)これらは何?) <u>Shoulders</u> . (何回か繰り返し聞かせる) Repeat! <u>Shoulders</u> . (リピート! 両肩。) その他の単語も同様に導入する	??? <u>HEAD</u> . (頭。) ??? <u>SHOULDERS</u> . (両肩。)	単数形、複数形で質問が変わるので注意。
練習	What's this? (これは何?) 各単語を児童から引き出す。	<u>HEAD</u> . (頭。)	あまり定着していない単語はリピート練習で強化しておく。
確認	Touch your <u>head</u> . (頭をタッチして。) HRTは自分の頭をタッチする。児童にも同様に 行うように促す。 何度か単語を変えて行う。	児童も同様にボディパーツをタッチする。 指示されたボディパーツをタッチする。	最初は理解できない児童が多いが、繰り返すうちにわかってくるので何度かモデルを示す。ジェスチャーなどから英語を類推することが重要なので、すぐに日本語で説明することは避ける。

0:15		タッチできるかな？	
準備物：「タッチできるかな？」カード（児童数×2）（HPからダウンロードできます）、机（グループ数分）			
活動内容	先生の動き	児童の動き	備考
準備	児童を1グループ10名以下のグループにわけ る。 各グループにグループ名をつける。 グループ数分の机を前に並べる。 「タッチできるかな?」カードを各机に2ヤマ ずつ置く。		カードはよくシャッフルしておくこと。 各ヤマはバラバラの順番でなければならない。
モデル	児童からボランティアを2名募る。 2ヤマでペアになったカードの一番上をそれぞれ引くように指示する(指示は日本語でよい)。 最初の児童からカードを受け取り、それを見せながら質問する。 What's this? ((カードを指して)これは何?) What's this? ((もう一枚のカードを指して)これは何?) 両方の単語が言えた時点で1点ポイントを与える。 (Put your) <u>hand and head</u> (together). ((手を頭に近づけるジェスチャーをしながら)手と頭(をくっつけて。)) 児童が指示された部分同士をくっつけられたらさらにもう1ポイント与える。	ボランティアの児童は前に出てくる。 各チームのカード2ヤマから1枚ずつ、2枚のカードをひく。 S1: <u>Hand</u> . (手。) S1: <u>Head</u> . (頭。) S1は <u>手と頭</u> をくっつける。	児童の声が小さければ、クラス全員に聞こえるようにHRTは再度カードにのっている単語を大きな声でクラス全員に向かって言う。 指示が長くて言いにくいようであれば()内は言わなくもよい。

活動内容	先生の動き	児童の動き	備考
	もう一人の児童にも同様に質問するが、引いたカードがお腹と背中などの場合、単語が言えてもタッチはできないので、その児童へのポイントは1点となる。 児童が理解したか確認する。 OK?(オッケー?)	S2は質問に答えて、引いたカードにのっている体の部位でタッチができるかやってみる。 OK!(オッケー!)	単語を言えたら1点、そのボディパーツ同士をくっつけられたら1点というルール説明が難しい場合は簡単に日本語でサポートしてよい。
アクティビティを行う	各列先頭の児童に前に来るように指示する。 カードを各ヤマから1枚ずつ引くように指示する。 端のチームから順に児童がひいたカードを見て質問する。 「単語を言えた」「タッチができた」の段階に応じてチームに得点を与える。 チーム全員に順番が回るまで続ける。 最後に、各チーム何ポイント獲得したかみんなを確認して、クラス全員の健闘を誉めて拍手する。 Everybody tried very hard. (みんな一生懸命がんばりました。)	先頭の児童は前に出てくる。 カードを各自2枚ひく。 児童のひいたカードはクラス全体に見せて、その児童が正しい単語を言えるかを全員が審判役になる。(待っている児童の集中を保つ。) 各チームの健闘をたたえて全員で拍手する。	「各チーム先頭の児童は前へ出る」や「カードをそれぞれのヤマから一枚ずつ引く」などの指示は日本語でよい。 重要なのは、児童が学習した単語を言えるということ。 無理な体勢をとるとケガをすることがあるので、児童には事前に注意するか「3秒でタッチできたものだけをポイントとする」など時間制限を設けるとよい。

0:30			
ソング：The Hokey Pokey			
準備物：カセットテープ／CD (HPから音楽をダウンロードできます)			
活動内容	先生の動き	児童の動き	備考
モデル	HRTは歌をゆっくりアカペラで歌いながら動作のモデルを示す。 Please watch me. (私を見て下さい。)	HRTの示すモデルを見る。 または、見よう見真似で一緒に踊ってみる。	簡単な振り付けなので、児童は練習がなくてもすぐに参加することができる。
歌を通して聞く	歌に合わせて踊りながら歌う。 Everybody, try it! (やってみましょう。)	歌に合わせて踊りながら、覚えた単語部分をできるだけ歌う。	

0:43			
ラップアップ			
準備物：なし			
活動内容	先生の動き	児童の動き	備考
本時のまとめ	本日導入した単語を簡単に復習する		
挨拶・誉め言葉	That's all for today. (今日はこれで終わりです。) You did a wonderful job! (みんなよく出来ました。)		